

科目名	キャリア教育(1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	身構え・気構え・心構えを持ち、社会人基礎力としてのホスピタリティ精神を学ぶ。						
到達目標	1年間のキャリア教育を通じ人からの信頼をもとに仕事を勝ち取れる人間力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	サポートアンケート・スケジュール確認	レポート作成
2	4月27日	講義・演習	学生便覧・ITリテラシー	レポート作成
3	5月11日	講義・演習	アークのルール・健康診断結果	レポート作成
4	5月18日	講義・演習	生活レポート・新歓レポート回収	レポート作成
5	5月25日	講義・演習	アーク撮影	レポート作成
6	6月1日	講義・演習	現場での注意事項	レポート作成
7	6月8日	講義・演習	学園祭レポート作成	レポート作成
8	6月15日	講義・演習	著作権に関する説明	レポート作成
9	6月22日	講義・演習	作品をつくるにあたっての注意事項	レポート作成
10	6月29日	講義・演習	舞台準備物等の説明	レポート作成
11	7月6日	講義・演習	夏休みの過ごし方について	レポート作成
12	7月13日	講義・演習	新人発掘の確認	レポート作成
13	8月24日	講義・演習	イベント	打ち合わせ、準備、本番
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			日々自分の目標を確認し、実行する	
【使用教科書・教材・参考書】				
筆記用具・ノート				

科目名	キャリア教育(2)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	身構え・気構え・心構えを持ち、社会人基礎力としてのホスピタリティ精神を学ぶ。						
到達目標	1年間のキャリア教育を通じ人からの信頼をもとに仕事を勝ち取れる人間力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認	レポート作成
2	10月12日	講義・演習	生活レポートの記入	レポート作成
3	10月19日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて	レポート作成
4	10月26日	講義・演習	面接の対応の仕方	レポート作成
5	11月2日	講義・演習	海外のエンターテイメントを学ぶ	レポート作成
6	11月16日	講義・演習	SNS等の使用の仕方を学ぶ	レポート作成
7	11月23日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認	レポート作成
8	11月30日	講義・演習	ダンサーの仕組みについて学ぶ	レポート作成
9	12月7日	講義・演習	将来設計について学ぶ	レポート作成
10	12月14日	講義・演習	冬休みの過ごし方・2年生への準備について・アクティビティ	レポート作成
11	12月21日	講義・演習	イベントに関する決め事	レポート作成
12	1月11日	講義・演習	イベントに関する注意事項	レポート作成
13	1月18日	講義・演習	イベントに関する心構え	打ち合わせ、準備、本番
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			日々自分の目標を確認し、実行する	
【使用教科書・教材・参考書】				
筆記用具・ノート				

科目名	キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	身構え・気構え・心構えを持ち、社会人基礎力としてのホスピタリティ精神を学ぶ。						
到達目標	1年間のキャリア教育を通じ人からの信頼をもとに仕事を勝ち取れる人間力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	スケジュール確認	レポート作成
2	4月27日	講義・演習	学生便覧 ・ITリテラシー	レポート作成
3	5月11日	講義・演習	アークのルール・健康診断結果	レポート作成
4	5月18日	講義・演習	生活レポート ・新歓レポート回収	レポート作成
5	5月25日	講義・演習	アーク撮影	レポート作成
6	6月1日	講義・演習	現場での注意事項	レポート作成
7	6月8日	講義・演習	学園祭レポート作成	レポート作成
8	6月15日	講義・演習	著作権に関する説明	レポート作成
9	6月22日	講義・演習	作品をつくるにあたっての注意事項	レポート作成
10	6月29日	講義・演習	舞台準備物等の説明	レポート作成
11	7月6日	講義・演習	夏休みの過ごし方について	レポート作成
12	7月13日	講義・演習	新人発掘の確認	レポート作成
13	8月24日	講義・演習	イベント	打ち合わせ、準備、本番
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			日々自分の目標を確認し、実行する	
【使用教科書・教材・参考書】				
筆記用具・ノート				

科目名	キャリア教育(4)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	身構え・気構え・心構えを持ち、社会人基礎力としてのホスピタリティ精神を学ぶ。						
到達目標	1年間のキャリア教育を通じ人からの信頼をもとに仕事を勝ち取れる人間力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認	レポート作成
2	10月12日	講義・演習	生活レポートの記入	レポート作成
3	10月19日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて	レポート作成
4	10月26日	講義・演習	面接の対応の仕方	レポート作成
5	11月2日	講義・演習	海外のエンターテイメントを学ぶ	レポート作成
6	11月16日	講義・演習	SNS等の使用の仕方を学ぶ	レポート作成
7	11月23日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認	レポート作成
8	11月30日	講義・演習	ダンサーの仕組みについて学ぶ	レポート作成
9	12月7日	講義・演習	将来設計について学ぶ	レポート作成
10	12月14日	講義・演習	冬休みの過ごし方・アクティビティ	レポート作成
11	12月21日	講義・演習	イベントに関する決め事	レポート作成
12	1月11日	講義・演習	イベントに関する注意事項	レポート作成
13	1月18日	講義・演習	イベントに関する心構え	打ち合わせ、準備、本番
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			日々自分の目標を確認し、実行する	
【使用教科書・教材・参考書】				
筆記用具・ノート				

科目名	All Dance Style(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	新しいテクノロジーを取り入れて、新しい表現が次々生み出されていくエンタメ業界を生きる為に、身体表現とテクノロジーを掛け合わせる方法を学び、研究、開発します。 [自分にしかできない]新しい組み合わせのエンターテイメントが創出できるように、「アイディア」「テクノロジー」「身体表現」の3種類のレッスンをを行います。						
到達目標	テクノロジー×エンターテイメントを学んで総合エンターテイナーを目指す 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	授業目的、チーム決め	自己紹介・興味のある事をまとめておく
2	5月8日	講義・演習	ブレインストーミング	自己紹介・興味のある事をまとめておく
3	5月15日	講義・演習	バックダンサーとしての基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
4	5月22日	講義・演習	ストレッチの基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
5	5月29日	講義・演習	ジャンルを学ぶ	授業の復習
6	6月5日	講義・演習	パフォーマンス制作の工程	授業の復習
7	6月12日	講義・演習	筋カトレーニング	授業の復習
8	6月19日	講義・演習	プロフェッショナルになるための心構え	授業の復習
9	6月26日	講義・演習	人間力を磨く	授業の復習
10	7月3日	講義・演習	ステージで使える表現のコツ	授業の復習
11	7月10日	講義・演習	ステップ基礎	授業の復習
12	7月17日	講義・演習	ステップ応用	授業の復習
13	8月28日	講義・演習	振りの確認	授業の復習
14	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	All Dance Style(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス & アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	新しいテクノロジーを取り入れて、新しい表現が次々生み出されていくエンタメ業界を生きる為に、身体表現とテクノロジーを掛け合わせる方法を学び、研究、開発します。 [自分にしかできない]新しい組み合わせのエンターテイメントが創出できるように、「アイディア」「テクノロジー」「身体表現」の3種類のレッスンをを行います。						
到達目標	テクノロジー×エンターテイメントを学んで総合エンターテイナーを目指す						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	授業目的、チーム決め	自己紹介・興味のある事をまとめておく
2	10月9日	講義・演習	ブレインストーミング	自己紹介・興味のある事をまとめておく
3	10月23日	講義・演習	バックダンサーとしての基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
4	10月30日	講義・演習	ストレッチの基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
5	11月6日	講義・演習	ジャンルを学ぶ	授業の復習
6	11月13日	講義・演習	パフォーマンス制作の工程	授業の復習
7	11月20日	講義・演習	筋力トレーニング	授業の復習
8	11月27日	講義・演習	プロフェッショナルになるための心構え	授業の復習
9	12月4日	講義・演習	人間力を磨く	授業の復習
10	12月18日	講義・演習	ステージで使える表現のコツ	授業の復習
11	1月15日	講義・演習	ステップ基礎	授業の復習
12	1月22日	講義・演習	ステップ応用	授業の復習
13	1月29日	講義・演習	振りの確認	授業の復習
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポート提出
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	MusicTheory(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 小林由佳 白鳥早也香 山城袖季 吉原佑香
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。					
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル曲作曲や楽曲アレンジができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	五線譜の各部名称とクレフ、音名を復習する
2	5月8日	講義・演習	音名	五線に書かれた音符の音名と鍵盤の位置が一致出来るように復習する
3	5月15日	講義・演習	音名、音符、休符	音名、音符、休符の表し方と連符を復習する
4	5月22日	講義・演習	音符、休符	音符、休符の表し方と連符を復習する
5	5月29日	講義・演習	拍子、複合拍子	小節線、単純拍子、複合・混合拍子、タイについて復習する
6	6月5日	講義・演習	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の区別、臨時記号の効力を学び正しい楽譜が書けるようにする
7	6月12日	講義・演習	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を迫るようにする
8	6月19日	講義・演習	音程	音程(度数の数え方、全音と半音)を復習する
9	6月26日	講義・演習	音程	音程(2.3.6.7度、# ♭あり)を復習する
10	7月3日	講義・演習	音程	音程(1.4.5.8度、# ♭あり)を復習する
11	7月10日	講義・演習	メジャースケール	メジャースケールの仕組みを復習し、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
12	7月17日	講義・演習	メジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
13	8月28日	講義・演習	マイナースケール	調号を用いてナチュラルマイナースケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
14	9月4日	講義・演習	マイナースケール	ハーモニックマイナー、メロディックマイナースケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
15	9月11日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
「ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著)滋慶教育科学研究所(監修)株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)株式会社滋慶教育事業部				

科目名	MusicTheory(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 小林由佳 白鳥早也香 山城袖季 吉原佑香
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。 本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。					
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル曲作曲や楽曲アレンジができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	代理コード(裏コードを含むダイアトニック外の代理コード)	メイジャー、マイナーのダイアトニックコードの代理コードとダイアトニック外の代理コードを使ってアレンジしてみる
2	10月9日	講義・演習	借用和音	マイナーキーからの借用和音を入れたコード進行を作ってみる
3	10月23日	講義・演習	転調	転調のパターンを知り、実践する
4	10月30日	講義・演習	アナライズ	楽譜と音源から楽曲分析をしてみる
5	11月6日	講義・演習	ヴォイスिंग	ケーデンスを実際に5線に書けるようにする(保留をしながら)
6	11月13日	講義・演習	アベイラブルノートスケール(メイジャー)	コードスケールを使ってフレーズを作ってみる
7	11月20日	講義・演習	アベイラブルノートスケール(マイナー)	コードスケールを使ってフレーズを作ってみる
8	11月27日	講義・演習	ドミナントスケール	V7に適したスケールを使ってフレーズを作ってみる
9	12月4日	講義・演習	コードに適したスケール	それぞれのコードに適したスケールを使ってフレーズを作ってみる
10	12月18日	講義・演習	その他のスケール	前回までに学んだスケール以外のスケールを使ってアレンジしてみる
11	1月15日	講義・演習	まとめ	復習をし、理解度を高める
12	1月22日	講義・演習	スコアリーディング	今までの内容を復習し理解度を高める期末テストに備える
13	1月29日	講義・演習	期末予備テスト	復習、テスト対策をし期末テストに備える
14	2月12日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策をし期末テストに備える
15	2月19日	講義・演習	テスト返却と総復習	実際に楽譜を読み、自分なりに分析し、表現に繋げる応用力を身に付ける。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
「ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著)滋慶教育科学研究所(監修)株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)株式会社滋慶教育事業部				

科目名	Ear Training(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 小林由佳 白鳥早也香 山城袖季 吉原佑香
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。					
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	音の歴史、モールス信号、周波数、効果音について知る／リズム打ち・書き取り方について知る。音の高低の判定	配布された授業プリントの リズム書き取りを正確に叩けるようにする
2	5月8日	講義・演習	4分音符、4分休符のリズム打ち／3拍子と4拍子のビート感覚を養う／2線紙を使って音の高低判定／2度音程を歌い音程感を身に付ける	配布された授業プリントの リズム打ちや書き取りを復習する
3	5月15日	講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントの リズム打ちや書き取りを復習する
4	5月22日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り	配布された授業プリントの リズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する
5	5月29日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
6	6月5日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
7	6月12日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	6月19日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、 音程を復習する
9	6月26日	講義・演習	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、 音程を復習する
10	7月3日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、 音程を復習する
11	7月10日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、 音程を復習する
12	7月17日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major,minorのコード判定	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、 音程を復習する
13	8月28日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、 音程を復習する
14	9月4日	講義・演習	期末テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを 復習する
15	9月11日	講義・演習	テスト返却、総復習	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを 復習する
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
「ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著)滋慶教育科学研究所(監修)株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)株式会社滋慶教育事業部				

科目名	Ear Training(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 小林由佳 白鳥早也香 山城袖季 吉原佑香
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。 本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。					
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(GMajor、2声メロディーは三連符導入、2声ハーモニーは2度音程導入)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
2	10月9日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)メロディー書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードIV(Ⅱm)ーVーIの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
3	10月23日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)メロディー書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードIV(Ⅱm)ーVーIの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
4	10月30日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)メロディー書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅥmを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
5	11月6日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)メロディー書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅥmを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
6	11月13日	講義・演習	曲を題材にしたリズム打ち、リズム書き取り、メロディー書き取り、メロディー書き取り(6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅥmを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
7	11月20日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	11月27日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
9	12月4日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
10	12月18日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
11	1月15日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)、メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
12	1月22日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)、メロディー書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コード I、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
13	1月29日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
14	2月12日	講義・演習	期末テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
15	2月19日	講義・演習	テスト返却、総復習	聴こえる音やリズムを正しく楽譜に書き、コードの響きや種類を聴き分けられる
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
「ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著)滋慶教育科学研究所(監修)株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)株式会社滋慶教育事業部				

科目名	グローバルコミュニケーション(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	4月22日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	5月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	5月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	5月27日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	6月3日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	6月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	6月17日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	6月24日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	7月8日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	7月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	8月26日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	9月2日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	9月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	9月16日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				

科目名	グローバルコミュニケーション (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	10月14日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	10月21日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	10月28日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	11月4日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	11月11日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	11月18日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	11月25日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	12月2日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	12月9日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	12月16日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	1月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	1月27日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	2月3日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	2月17日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				

科目名	All Dance Style (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	新しいテクノロジーを取り入れて、新しい表現が次々生み出されていくエンタメ業界を生きる為に、身体表現とテクノロジーを掛け合わせる方法を学び、研究、開発します。 [自分にしかできない]新しい組み合わせのエンターテイメントが創出できるように、「アイディア」「テクノロジー」「身体表現」の3種類のレッスンをを行います。						
到達目標	テクノロジー×エンターテイメントを学んで総合エンターテイナーを目指す 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	授業目的、チーム決め	自己紹介・興味のある事をまとめておく
2	5月8日	講義・演習	ブレインストーミング	自己紹介・興味のある事をまとめておく
3	5月15日	講義・演習	バックダンサーとしての基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
4	5月22日	講義・演習	ストレッチの基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
5	5月29日	講義・演習	ジャンルを学ぶ	授業の復習
6	6月5日	講義・演習	パフォーマンス制作の工程	授業の復習
7	6月12日	講義・演習	筋カトレーニング	授業の復習
8	6月19日	講義・演習	プロフェッショナルになるための心構え	授業の復習
9	6月26日	講義・演習	人間力を磨く	授業の復習
10	7月3日	講義・演習	ステージで使える表現のコツ	授業の復習
11	7月10日	講義・演習	ステップ基礎	授業の復習
12	7月17日	講義・演習	ステップ応用	授業の復習
13	8月28日	講義・演習	振りの確認	授業の復習
14	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	All Dance Style (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松永滯奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	新しいテクノロジーを取り入れて、新しい表現が次々生み出されていくエンタメ業界を生きる為に、身体表現とテクノロジーを掛け合わせる方法を学び、研究、開発します。 [自分にしかできない]新しい組み合わせのエンターテイメントが創出できるように、「アイディア」「テクノロジー」「身体表現」の3種類のレッスンをを行います。						
到達目標	テクノロジー×エンターテイメントを学んで総合エンターテイナーを目指す						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	授業目的、チーム決め	自己紹介・興味のある事をまとめておく
2	10月9日	講義・演習	ブレインストーミング	自己紹介・興味のある事をまとめておく
3	10月23日	講義・演習	バックダンサーとしての基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
4	10月30日	講義・演習	ストレッチの基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
5	11月6日	講義・演習	ジャンルを学ぶ	授業の復習
6	11月13日	講義・演習	パフォーマンス制作の工程	授業の復習
7	11月20日	講義・演習	筋力トレーニング	授業の復習
8	11月27日	講義・演習	プロフェッショナルになるための心構え	授業の復習
9	12月4日	講義・演習	人間力を磨く	授業の復習
10	12月18日	講義・演習	ステージで使える表現のコツ	授業の復習
11	1月15日	講義・演習	ステップ基礎	授業の復習
12	1月22日	講義・演習	ステップ応用	授業の復習
13	1月29日	講義・演習	振りの確認	授業の復習
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポート提出
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して基礎を見直す	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	ILC
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	4月22日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	5月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	5月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	5月27日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	6月3日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	6月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	6月17日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	6月24日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	7月8日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	7月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	8月26日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	9月2日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	9月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	9月16日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				

科目名	グローバルコミュニケーション (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	ILC
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	10月14日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	10月21日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	10月28日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	11月4日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	11月11日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	11月18日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	11月25日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	12月2日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	12月9日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	12月16日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	1月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	1月27日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	2月3日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	2月17日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				